

1. 事業名	京都府ジェンダーギャップ0(ゼロ)プロジェクト								
2. 実施期間	令和6年4月1日　～　令和7年3月31日								
3. 事業の趣旨・目的	経済団体等と行政(京都府・京都市・京都労働局)の連携による「輝く女性応援京都会議」(女性活躍推進法に基づく協議会)を母体として、企業や地域における女性リーダーや、デジタル分野も含めた女性起業家の起業支援を実施し、様々な分野で活躍する女性リーダーの育成を図る他、日常生活や社会生活の中で様々な困難な問題を抱える女性が増加していることから、民間団体と連携した様々なアプローチで女性支援を実施する等、京都府の女性活躍の推進、女性が直面している様々な問題の解消へ向けた総合的取組を各団体と連携し実施する。								
4. 事業内容	①ジェンダーギャップ0プロジェクト(企業・地域活動支援) ・企業応援チームによる女性活躍推進法に基づく事業主行動計画の策定や目標達成への支援、ワーク・ライフ・バランスを推進する京都府独自の企業取得支援を実施した。 ・女性役員や女性社員等への人材育成研修の他、管理職や人事担当者向け意識改革研修を実施するとともに、学生を対象とした女性ロールモデル情報の提供や職場見学会を実施した。 ・男女共同参画視点からの防災・復興体制を地域に広げ、地域防災において女性のリーダーシップを推進する人材を育成するため、危機管理部局や市町村と連携した研修やワークショップを開催した。 ・地域活動に取り組む女性や地域活動を始めたい女性を対象に、活動の進め方を学び、ネットワークづくりを支援する研修会を実施するとともに、実際の活動を伴走支援することで、地域活動で活躍する女性リーダーを育成した。 ②ジェンダーギャップ0プロジェクト(女性の起業・経営支援) 優れた起業アイデアを持った女性の経済的自立、社会参画を促し、様々な分野で活躍する女性起業家を育成するため、女性の起業スタート支援、女性起業家の表彰・交流会、金融機関と連携した女性起業家のコミュニティ・ネットワーク構築支援を実施した。 ③女性のための相談支援事業(つながりサポート) 様々な困難・課題を抱える女性に対する支援を強化するため、民間団体と連携した無料電話相談やカウンセリング、SNS相談の実施、男女共同参画センターの相談体制強化、女性相談員の人材育成、生理用品の配布、関係機関の連携による府内の女性相談体制の強化を行い、多様なアプローチで支援するとともに、各相談機関相互の連携を図り、SNS相談から電話相談・カウンセリングの支援につなげるなど、相談者に寄り添った支援を実施した。 ④女性のための相談支援事業(寄り添い支援) 上記③の事業の相談者の中で継続的な支援が必要な相談者に対する無料カウンセリングや女性支援のための啓発(府民向け公開講座)を行うとともに各相談機関相互の連携を図り、SNS相談から電話相談・カウンセリングの支援につなげるなど、相談者に寄り添った支援を実施した。 ⑤男性相談事業 ジェンダー平等の意識が高まる中、男性が家庭・地域社会で孤独・孤立に陥るリスクも増大していることから、男性のジェンダー問題に精通する男性相談員による相談窓口を設置し男性相談を実施した。								
5. 事業の効果	輝く女性応援京都会議において、構成団体間で事業実施結果について情報共有・意見交換を行うとともに、各事業において参加者や参加企業を対象にヒアリング及びアンケートを実施し、事業の効果と課題を把握した。女性相談等の内容を集計・分析することで、ニーズを把握し、今後の相談体制整備に生かしていく。								
	5ー2. 効果検証の概要	各事業において、参加者アンケート、参加者に対するヒアリング、委託事業者の実施報告書等から事業の効果を検証し、成果や課題を確認した。 また、中長期的には、輝く女性応援京都会議で策定した「京都女性活躍応援計画」(女性活躍推進法に基づく推進計画)の参考指標である、「役職者の女性の状況」等の指標により、京都における女性活躍の状況を把握し、事業の効果や今後の展開について検証・検討を行っている。							
		(1) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)		
			企業の役職者の女性比率	(アウトカム)	係長相当職 30% 課長相当職 18%	(令和6年度)	係長相当職 21.4% 課長相当職 10.9%	(令和6年度)	
			評価	評価の理由、事情等					
			3.未達成	京都府における企業の役職者の女性比率は、全体的に右肩上がりの傾向ではあるが、微増減を繰り返しつつという実態であり、目標達成に向けては今後も継続的な取組が必要であるため。					
		(2) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)		
			各研修・セミナー参加者数	(アウトプット)	900 名	(令和7年3月末)	999名	(令和7年3月末)	
			評価	評価の理由、事情等					
			1.達成	全体としては、目標値以上の成果を得ることができた。					

6. 目標達成度及び 達成状況に対する評価	(3) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		起業スタート支援への参加者数	(アウトプット)	50名	(令和6年度)	51名	(令和6年度)
		評価	評価の理由、事情等				
		1.達成	関係機関との連携により、実施事業に係る周知を幅広に行うとともに、参加者のニーズを踏まえた内容とすることにより、参加者数が増加し目標を達成することができた。				
	(4) 事業KPI	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		参加者のうち、起業した者の割合	(アウトカム)	50%	(令和6年度)	84.9%	(令和6年度)
		評価	評価の理由、事情等				
		1.達成	起業のスタート期に対する支援が主な支援内容であり、起業後の女性起業家の参加比率が高くなったことから、目標値を上回る結果となった。				
	(5) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		女性からの相談件数	(アウトプット)	3,300件	(令和7年3月末)	3,795件	(令和7年3月末)
		評価	評価の理由、事情等				
		1.達成	相談件数3,000件の目標に対し、相談件数の実績は3,795件となり、目標を上回った。SNS相談の気軽さや、相談窓口同士で相談者に紹介したことで件数増加に繋がったと考える。				
	(6) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)	
		伴走支援件数	(アウトプット)	330件	(令和7年3月末)	247件	(令和7年3月末)
		評価	評価の理由、事情等				
		3.未達成	継続的な支援に対するニーズはあるものの、結果として相談件数が減少した。				
(7) 事業目標	目標・KPI		目標値(時点)		報告時(時点)		
	男性からのカウンセリング件数	(アウトプット)	100件	(令和7年3月末)	105件	(令和7年3月末)	
	評価	評価の理由、事情等					
	1.達成	目標の相談件数を達成することができた。支援に対するニーズが高いことが要因と考える。					
7. 今後の課題	・職業生活における女性活躍を推進する上の課題として、女性がキャリアを継続できる環境や性別役割分担意識の根深さ、ロールモデル不足、柔軟な働き方の実現等の複合的な課題が存在しており、これらに対し多角的、かつ、継続的に取り組むとともに、より多くの企業や府民の意識変革を促すため、ジェンダーギャップゼロに向けた機運醸成の一層の加速化が必要である。 ・社会面・経済面など様々な困難・課題を抱える方が増加しており、今後も社会情勢の影響等が見込まれることから、相談者のニーズに対し、きめ細やかな支援を継続して行うことが必要である。						
8. 事業の実施体制 (連携の状況)	【事業番号①・②】 京都ウィメンズベース(事務局:京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所)において、事業の企画・立案を行い、それぞれの業務内容に精通した事業者に業務を委託。委託後は進捗管理を行うとともに、業務の詳細、広報等について、随時受託者と調整しながら事業を執行。 (各事業共通) 京都府、京都市、京都労働局、京都商工会議所、京都商工会議所女性会、京都府商工会議所連合会、京都府商工会議所女性会連合会、京都府商工会連合会、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業女性中央会、一般社団法人京都経営者協会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、京都府商工会女性部連合会、一般社団法人京都中小企業家同友会、日本労働組合総連合会京都府連合会、国際ソロプチミスト京都、国際ゾンタ京都クラブ、公益財団法人大学コンソーシアム京都、日本政策金融公庫、公益財団法人21世紀職業財団関西事務所、京都府男女共同参画センター、京都市男女共同参画センター 【事業番号③・④】 ・電話相談やカウンセリングの実施(民間団体への委託) 民間団体等2団体に委託して実施 ・SNS相談の実施(民間団体への委託) 民間団体1社に委託して実施 【事業番号⑤】 ・相談者への継続的な伴走支援の実施(民間団体への委託) 民間団体等1社に委託して実施						